

◆ 鮮やかな花が私たちを楽しませてくれます

6月に見ごろを迎える花しょうぶ。

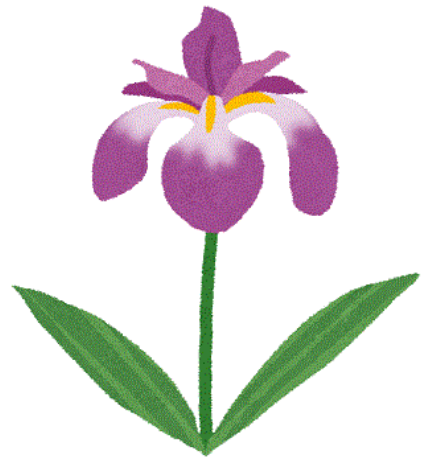
梅雨空の下で咲かせる青や紫の花は心を落ち着かせ、私たちの目を楽しませてくれますね。

この花しょうぶ、同じ「ショウブ」でも端午の節句に菖蒲湯として使われる菖蒲とは全く別のもの。花しょうぶは「アヤメ科」、菖蒲は「サトイモ科」です。

また、似た種類には「アヤメ」や「カキツバタ」もあり、どの花も美しいことから「何れ菖蒲(アヤメ)か杜若(カキツバタ)」ということわざもあるほど。

全国の名所ではこれら3種を総称して「あやめ」と呼ぶことが多いようです。

この時期には各地の菖蒲園で花が咲き揃いますので、お休みの日にお出かけしてみたいかたがでしょうか？



◆ 「あやめ」や「かきつばた」との違いは？

● 花菖蒲(ハナショウブ)

池や沼、流れの緩やかな小川などの湿地帯を好み、100cm程度まで育ちます。

花の色は白、青、赤紫、桃色などで花卉の付け根付近に黄色い柄があるほか、覆輪や絞りなどの模様のある品種も多く、園芸品種ということもあり、種類の総数は五千を越えるとも言われています。

葉の表に1本、裏に2本の葉脈があります。

● 菖蒲(アヤメ)

山や草地など乾いたところで育ち、高くても60cm程度までしか育ちません。

花の色は主に紫で、花卉の付け根に黄色と紫の網目模様があります。葉の葉脈は細く目立ちません。

● 杜若(カキツバタ)

花菖蒲と同じく湿地帯を好みますが、高さは育っても80cm程度まで。

花の色は紫や青紫で花卉の付け根に白い柄があり、絞り模様がある種類も見られます。葉脈は同じく目立ちません。

菖蒲の花を見に行こう！！

全国各地に花しょうぶなどのあやめ類を展示した「菖蒲園」、「あやめ園」があります。

今回は規模の大きいものをピックアップしましたが、このほかにも花しょうぶの名所はたくさんありますので、お近くで探してみてくださいね。

● 長井あやめ公園 (山形県長井市)

500種100万本もの花しょうぶが植えられており、この内34品種はここで発見された「長井古種」という品種です。

これは原種であるノハナショウブに近い特長を持っており、この長井古種と他の系統を交配させた「長井系」というグループも誕生しています。

● 吹上しょうぶ公園 (東京都青梅市)

およそ10万株の花しょうぶが植えられており、例年、開花時期の5月下旬から6月下旬まで「吹上花しょうぶ祭り」が開催され、賑わいに花を添えています。

● 柳生しょうぶ園 (奈良県奈良市)

アジサイ園と併設されており、花しょうぶ園には460種80万株の花しょうぶが植えられています。

毎年開花時期(5月下旬から7月上旬)に合わせて一般公開されていますよ。

